

# 琉球大学学術リポジトリ

## 調査回答書：ジャボール公学校

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 矢内原忠雄 キーワード (En): Yanaihara Tadao 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38040">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38040</a>

# 矢内原忠雄文庫

史料名	南洋庁ジャボール公学校高熊春次から矢内原宛 「島民教育ニ関スル件」昭和7年10月13日
封筒番号	53
原文所所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月8日
撮影者	富士写真フイルム 株式会社
備考	





昭和七年十月十二日

南洋廳ニテホクニ公学校長高熊春友

東京帝國大學教授矢内原忠雄殿

島民教育ニ関スル件

八月一日付御照會有之候旨題件一別紙  
一通、調査状段及回報候也

記

別紙添付

南洋廳

改良美濃牛蓋紙

(青田納)



1/10

南洋島民教育の質向答申書

一 修身科

人主たる訓育の目的は何カ

道德的思想感情意志を陶冶馴致して  
健続的の品行に努力す物に真摯なる態度  
ヲ以テ其變スル基礎ヲ養成ス

又物に主体觀念を養成し努力を促スアリヤ

公學校に於テ物に主体觀念を養成し努力  
ルカ如キ事ナキモ祝祭日訓練及び修身  
廣方等ニ著目ニ施シ物に留意スル  
之ヲ授ク

3. 物に用ひ改善の努力を促スアリヤ

本島島民一視に安逸ヲ好ミ放縱ニ流

南洋廳

レ易ク其生活極メテ無秩序無制レ即  
チ此等學校教育ニ於テ矯正改善ニ  
努力シテ物に留意スルアリ

二 國語科

1. 教授用語に島民語ヲ用フル事アリヤ  
使用ス

又國語各島民相互間共通語リテ普及達スル  
アリト思ハルヤ

本島各島に於テ各島其用語異ニスルヲ  
以テ他島に旅行スルカ不便ニ感スルヲ以テ  
日本語ノ必要ニ迫レルモ他島各島へ旅行  
スルカ如キ事殆ホナク且各島相互間ニ於テハ  
特殊ノ者ヲ除ク外在來ノ島語ヲ用ヒス

ヲ以テ島民相互間、共通程度トシテ、強ク其普及  
達ヲ欲ス

三、三ヶ年ノ学習ヲ日用ヲ弁スルニ不足セザルカ

島民生活ニ極メテ單一化ナラザルニ不足ヲ感ス

三、算術科

ハ在来島民ニ如何ホトコシノ數ヲカスラズヤ

一〇〇位。

又、及學齡ヲ教授スルカ

教授ス

四、島民ニ如何ナル学科ニ適シ如何ナル学科ニ

不適ナリト認めラルヤ

算術、思考ヲ要スル学科ニ不適ナリト算術

唱歌、体操、國語等ニ對シテ學習ス

南洋廳

五、島民ニ向ク心白學心カ認めラルカ

近來、學校教育又ニ常ニ普及教育ヲ受ケタル

影響者カ向ク心白學心等認めラル其事——ナキモ

文雅人ノシテ、此教授スルモナキ、極メテ微ニタレモナリ

六、島民ニ教育ニ對シテ知能發達シテ文雅人ニ列スル

見見込アリト認めラルカ

環境ト教育、如何ニ言テ、或ニ文雅人ノ域ニ列

達シ得ラレモ、本ニ存心必クニ居住シテ、假ニ教育

設備完成セザレタリトシテ、文雅人ニ及コトハ甚ク

考ヘヤコトアリト思考スルカ

七、師教員ニ如何ナル仕事ヲ担当スルカ

則チ多ク、各校共ニ一石宛、定員充實ニシテ、教

員、實際ニ昇進セシメス、又、事務ヲ執ルノ

能力ナキヲ以テ教授準備ニ手付スノ時ニ又見ト  
面接ノ際通シ譯ナク尚クモ或ハ島出漢文書ノ  
收書ラマセシム

八島民生徒ニ年令 最高最低平均如何  
南八才ニテ入学ス (數年以前ニテハ推定年令ヲ  
以テ入学セシメタル者十五才ノ生徒モ居タリシ  
カ現今ハ殆ト一疋セシタリ)

八島民衆學ニ自發的ナルヤ又ハ官ノ奨励ニ少クモヤ  
并設當時ニ為育ニツイテハ理解セタム入学ヲ勸  
誘ノセシモ今ハ日ニテハ女ハヒテ入学ス本校ノ如キ  
ニ設備其他ノ關係ノ全ク入学セシメ得ル  
ガハ現況ニアリ

南洋廳

云島民衆ニ文字化ニ文典・辭典・編纂ニ行ヒ居ルヤ  
西歐人度來ラレテ文字傳ヒリ現今ニテハ存存山物特  
價方ニテ日常ノ用ヲ并ニモワリ 文典等ノ編  
纂セラルルヲ本マシムルニ存存山ニモ未タ且テナシ

以 之

### 島民教育自問の質向の答申書

一 島民、如何なる程度に学校を尊重する力  
に学校教師を對して

島民教化の中心たる宜教師、島民、信任最  
厚の從つ最高教意拂つ学校教師の遇  
ふるに亦合し

又、学校を對して

学校、難有味ら感ある之に平業後於て平  
業兒童、登用利用、途を以て兒童自身に  
於て取テ成績、向上に因らんと努力ナク、父兄も  
亦彼等成績、優秀を以て其翼、へりて之に彼  
等、亦生活に何等教育、必要を感心せしハナリ  
然レ共一度入学せ、病負又、学校規則に反則

### 南洋廳

要分を受て退学せし者、除く外、家事、都  
合等、依りて退学、迫ルカ如キ者、強トナシ

二 島民生徒、出席規則にキヤル、出席を促ス、如何  
に在方法に云ヤ

當存島に公私、分学校三校、當校、就学  
区域、ラリワ列、島(エホニ島ヲ除ク、エホニ、私立  
分学校、エホニ)ラリタワ列、島、ヤルトト、迫キ、  
レ、アル、メ、エホニ、三島、ニテ、学校、取在、地、ヤル  
ト、島、ト、通、学、困、難、ナル、以、テ、寄、宿、舎、ヲ  
設ケ、父、兄、親、戚、等、キ、者、ハ、亦、之、ヲ、充、ツ

通、学、具、童、モ、ビ、ヤ、ホ、ル、狭、キ、土、地、に、住、居、ス、ル、以、テ  
始、業、時、間、に、遅、刻、ス、ル、者、ナ、ク、具、童、ハ、亦、最、モ、愉  
快、ナ、道、に、場、勉、強、取、テ、缺、席、ス、ル、者、強、ク、ナ、ク、南



洋群島中一坐席督勵、必要其備校ノニアラ  
セヤト思惟ス

三半一途退學者ト位アルカ(入學者對出率)  
疾病ニ通學不可能トル者以外ニモ退學者  
ノ率、凡ソ一〇〇分、二位ナラシカ

四島民児童能力、邦人又、歐人ニ比シテ如何、又女  
生徒能力、男生徒ニ比シテ如何

島民児童能力、入學者當時及入學者前ニ於テ部  
人及歐人ニ比シテ遜色ナキニ漸ク長スルニ及ビテ件展  
達ハ島民ノ域ノ限ニ能ク思フニ候因テ、影  
響ヲ受メテ、性、方面、早、熟ニ此例リ能力ニ亦  
早熟ニシテ其發展ニ一定限度ヲ越ス事ナシ

男生徒、數字方面ニ優リ、女生徒、音樂及手

南洋廳

藝等ニ秀ル

五島民児童、勤勉、従順、品行、状況如何

勤勉ナク、指導并監督、下ニアリテモ尚ホ怠ラカナル  
ヲ以テ自ラ進メテ、同習ヲ見ル事ナシ

教育、節制、美風ナキヲ以テ従順ナルカ如何シテ従順

ナク自己ヲ抑制ス事能ハシハ監督監視ナキ  
所ニ於テ乱レカヤリ然レモ直賜學校生活ニ馴レ

漸次品行状況改善サレワアリ

六本科及補習科ニ於テ學習ニ知識、程度如何

以學校、修業年限、本科三年、補習科二  
ケ年ト定メラレ補習科、本科卒業者中

ノ希望者ヲ入學セシム

元來分學校ニ教授ス教科、目及學科

程度、小学校、つれに、年、スト、宝、モ、分、学、校、見、産、其、  
素質、環境等、ヲ、異、ニ、ス、ル、ミ、ナ、ク、小、学、校、ト、各、学、  
年、教科、目、等、モ、異、リ、且、教、授、際、レ、テ、日、本、語、  
ヲ、専、用、ス、ル、以、テ、之、等、ノ、苗、上、ヲ、考、ル、ト、思、ハ、ル、物、本、同、  
題、ニ、関、シ、小、学、校、ト、比、較、シ、難、キ、状、態、ニ、ア、リ、

七、学、習、見、知、識、ノ、卒、業、後、於、テ、利、用、状、態、如、何、  
又、非、就、学、島、民、ト、シ、テ、如、何、ナ、ル、有、違、ヲ、示、ス、  
ノ、本、學、島、島、民、其、生、活、程、度、極、ク、低、ク、未、タ、原、  
始、的、状、態、ニ、ア、リ、文、化、ノ、昇、ノ、費、等、ニ、能、キ、昇、ノ、心、ヲ、  
持、ツ、者、ナ、キ、ヲ、以、テ、違、テ、学、習、見、知、識、ノ、運、用、ヲ、  
因、ラ、レ、ト、ス、者、無、ケ、レ、共、産、科、ニ、於、テ、收、メ、タ、ル、知、  
識、技、能、ハ、之、等、生、活、ノ、昇、ノ、聯、ノ、多、キ、有、力、漸、  
次、利、用、セ、ラ、レ、ワ、ア、リ、

南洋廳

又、分、学、校、卒、業、生、及、非、就、学、子、者、ト、シ、テ、未、タ、過、  
度、期、ナ、ル、以、テ、之、ヲ、示、ス、事、不、可、能、ナ、レ、リ、モ、  
概、観、ス、ニ、分、学、校、卒、業、者、非、就、学、島、民、  
ニ、比、シ、日、常、生、活、ニ、稍、秩、序、ヲ、帯、ヒ、ワ、ア、ル、  
ヤ、見、エ、ン、又、分、学、校、卒、業、者、日、本、産、ノ、日、  
常、會、話、ニ、取、リ、不、仰、ウ、感、セ、サ、ル、以、テ、吾、ノ、邦、  
人、リ、分、私、昇、ノ、仰、ニ、於、テ、便、益、ヲ、感、シ、ツ、ア、リ、  
尚、又、学、校、生、活、ヲ、経、テ、ル、者、團、体、生、活、ニ、物、レ、  
且、運、動、遊、戯、技、術、音、樂、等、ヲ、好、ム、之、ニ、  
親、シ、ム、以、テ、身、心、陶、治、ニ、益、ヲ、多、ク、受、ク、